

作成日 2023年3月27日

改訂日 2024年6月28日

安全データシート(SDS)

製品名

D-Lux COATING Pro スーパーメンテナンスクリーナー

1. 製品及び会社情報

製品名	: D-Lux COATING Pro スーパーメンテナンスクリーナー
品番	: 08890-K9017
推奨用途及び使用上の制限	
推奨用途	: 洗浄
使用上の制限	: 推奨用途以外への使用は禁止する
供給者の会社名称	: 中央自動車工業株式会社
住所	: 大阪市北区中之島4丁目2番30号
担当部門	: 商品開発部 研究開発グループ
電話番号	: 06-6443-5846
FAX番号	: 06-6445-8573
整理番号	: 1152-2-2-D

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	: 引火性液体	区分3
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分2
	誤えん有害性	区分1
	水生環境有害性 長期(慢性)	区分2
	※記載のないものは区分に該当しないまたは分類できない。	

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

: 危険

危険有害性情報

H226	引火性液体および蒸気
H319	強い眼刺激
H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H411	長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

P210	熱、高温のもの、火花、裸火および他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233	容器を密閉しておくこと。
P240	容器を接地すること、アースを取ること。
P241	防爆型の電気機器、換気装置、照明機器を使用すること。
P242	火花を発生させない工具を使用すること。
P243	静電気放電に対する予防措置を講ずること。
P264	取扱い後、手をよく洗うこと。

- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急措置】

- P301+P310+P331 飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。吐かせないこと。
- P303+P361+P353 皮膚(または髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。
- P305+P351+P338+P337+P313 眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合は、医師の診察、手当てを受けること。
- P370+P378 火災の場合には適切な消火方法をとること。
- P391 漏出物を回収すること。

【保管】

- P403+P235+P405 容器を涼しく換気の良い所で施錠して保管すること。

【廃棄】

- P501 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別 :混合物
含有成分及び含有量

物質名	含有量(%)	毒劇法	安衛法	化管法	CAS No.
イソパラフィン系溶剤	30 - 40	非該当	非該当	非該当	非公開
ノナン※1	(0.3 - 1.7)	非該当	該当	非該当	非公開
シロキサン化合物	1 - 10	非該当	非該当	非該当	非公開
粘土鉱物	1 - 10	非該当	非該当	非該当	非公開
酸化チタン※2	(0.1 - 1.5)	非該当	該当	非該当	13463-67-7
ミネラルスピリット	0.1 - 1.5	非該当	該当	非該当	8052-41-3
界面活性剤	0.1 - 1	非該当	非該当	非該当※3	非公開
イソプロピルアルコール	0.1 - 1	非該当	該当	非該当	67-63-0
水	50 - 60	非該当	非該当	非該当	7732-18-5

この組成の正確な含有量(濃度)は営業秘密として非開示としています。
※1: イソパラフィン系溶剤に含まれる安衛法該当物質。異性体混合物の為、CAS No.は特定できない。直鎖体の含有量は化管法規制値未満。
※2: 粘土鉱物に含まれる安衛法該当物質である。
※3: 含有量が規制値に満たないため非該当。

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、保温して安静を保ちながら呼吸しやすい姿勢で休息させる。
嘔吐がある場合は頭を横向きにして嘔吐物を飲み込ませない様にする。
気分が悪い場合は医師に連絡する。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を速やかに脱ぎ、皮膚を多量の水と石けんで十分に洗う。
外観の異常や痛みがある場合は必要に応じて医師の診察を受ける。
- 眼に入った場合 : 清浄な流水で15分間注意深く洗う。容易に外せる場合はコンタクトレンズを外して洗眼する。
眼の刺激が続く場合は眼科医による診察と手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 誤えんの恐れがあるため吐かせない。口腔内を水洗し、直ちに医師の診察を受ける。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂、散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤 : 棒状注水

- 火災時の特有の危険有害性 : 当該製品の燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には煙を吸入しないように注意する。
- 特有の消火方法 : 消火作業は、風上から行う。
火災発生場所の周辺は関係者以外の立ち入りを禁じ、可燃物は速やかに取り除く。
容器は速やかに安全な場所に移す。困難な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も多量の水を用いて、十分に容器を冷却する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業では、皮膚、目、呼吸器を保護する適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項 : 屋内で漏出した場合は、窓、ドアを開けて十分に換気を行う。
漏出した場所の周辺に、ロープを張る等して関係者以外の立ち入りを禁止する。
作業の際、皮膚、目、呼吸器を保護する適切な保護具を着用する。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
こぼれた場所はすべりやすいために注意する。
- 環境に対する注意事項 : 洗浄した水等は地面や排水溝にそのまま流さない。
下水等に入り込まないように注意する。
- 除去方法 : 少量の場合は、土、砂、土砂、乾燥砂、ウエス等に吸収させ、密閉できる空容器に回収する。
多量の場合は、土砂・土のう等で流出を防ぎ、安全な場所に導いて回収する。
廃棄物は、関連法規等に基づいて処理する。
- 二次災害の防止法 : 漏出時は速やかに関係機関に通報する。
付近の着火源となるものや高温体及び可燃物を速やかに取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い

技術的対策 : 周辺での火気、スパーク、高温物の使用は避け、着火源から遠ざけること。

安全取扱い注意事項 : 製品記載の使用上の注意をよく読み、用途以外に使用しないこと。

接触回避 : 特になし

衛生対策 : 必要に応じて、皮膚、目、呼吸器を保護する適切な保護具を着用すること。
作業中は、飲食または喫煙をしないこと。
取扱い後は、手洗い、うがい、洗顔等を十分に行い、作業衣等に付着した場合は着替えること。
- 保管

安全な保管条件 : 使用するまで容器は決して開栓せず、風通しの良い冷暗所に施錠して保管すること。
直射日光、40℃以上の高温、凍結の恐れのある所は避けること。
着火源、強酸化剤から離して保管すること。

安全な容器包装材料 : 特になし。容器を移し替えないこと。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度・許容濃度等

物質名	管理濃度	許容濃度 Threshold limit value	
		日本産業衛生学会	ACGIH
		(2022年度版)	(2019年版)
酸化チタン	—	※(吸入性粉塵) 1.5, (総粉塵) 2.0 mg/m ³	TWA 10mg/m ³
ミネラルスピリット	—	—	TWA 100ppm
イソプロピルアルコール	200ppm	400ppm (980 mg/m ³)	TWA 200ppm STEL 400ppm
粘土鉱物 (第一種粉塵として)	—	(吸入性粉塵) 0.5, (総粉塵) 2.0 mg/m ³	TWA (Inhalation) 2.0, (All) 15 mg/m ³

※2022年度提案の暫定値

- 設備対策 : 屋内は全体に換気する。
換気の悪い場所及び蒸気の発生の多い場所には局所排気装置を設ける。

屋内作業場で多量に使用する時は、蒸気が滞留しないように、排気装置を設ける。
取扱い場所の近くに洗眼、身体洗浄のための設備を設ける。

保護具	
呼吸器の保護具	: 通常の使用条件下では保護具は必要ない。有機ガス用防毒マスクを必要に応じて着用すること。
手の保護具	: 耐溶剤性の保護手袋を必要に応じて着用すること。
目の保護具	: 保護眼鏡を必要に応じて着用すること。
皮膚の保護具	: 保護衣、保護前掛けを必要に応じて着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 混濁液体
色	: 乳白色
臭い	: 溶剤臭
融点／凝固点	: データなし
沸点、初留点と沸騰範囲	: データなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: データなし
引火点	: 34.5°C (タグ密閉方式)
自然発火点	: データなし
pH	: データなし
動粘性率	: データなし
溶解性	: 水に不溶
n-オクタノール／水分配係数	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 0.90±0.05
粘度	: 2.2 dPa・s
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

安定性	: 通常の手扱い条件において安定
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: 高温、熱源、裸火へのばく露
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 加熱分解により一酸化炭素や二酸化炭素を生じる。

11. 有害性情報

急性毒性－経口	
製品	: 区分に該当しない。ATEmix > 2,000 mg/kg (ただし成分中の10 - 20%は毒性が未知。)
イソパラフィン系溶剤	: LD ₅₀ > 5,000 mg/kg (ラット、類似構造物質のデータ) [原料SDS]
シロキサン化合物	: LD ₅₀ > 2,000 mg/kg (IUCLID (2000)) [NITE-CHIRIP]
粘土鉱物	: LD ₅₀ > 20,000 mg/kg (ラット) [原料SDS]
イソプロピルアルコール	: LD ₅₀ > 5,840 mg/kg (ラット) [原料SDS]
ミネラルスピリッツ	: LD ₅₀ > 5,000 mg/kg (ラット) [原料SDS]
急性毒性－経皮	
製品	: 区分に該当しない。ATEmix > 2,000 mg/kg (ただし成分中の10 - 20%は毒性が未知。)
イソパラフィン系溶剤	: LD ₅₀ > 5,000 mg/kg (ウサギ、類似構造物質のデータ) [原料SDS]
シロキサン化合物	: LD ₅₀ > 2,400 mg/kg (ラット)、LD ₅₀ > 4,640 mg/kg (ウサギ) (IUCLID (2000)) [NITE-CHIRIP]

イソプロピルアルコール	: LD ₅₀ = 12,870 mg/kg (ウサギ) (EHC103 (1990), PATTY (6th, 2012), SIDS (2002)) [NITE-CHIRP]
ミネラルスピリッツ	: LD ₅₀ > 3,000mg/kg(ウサギ) [原料SDS]
急性毒性－吸入	
製品	: 区分に該当しない。ATEmix > 20.0 mg/L(ただし成分中の10 - 20%は毒性が未知。)
イソパラフィン系溶剤	: LC ₅₀ > 5,000 mg/m ³ (ラット、類似構造物質のデータ) [原料SDS]
シロキサン化合物	: LC ₅₀ > 12.17 mg/L/4h = 1,003 ppm/4h (ラット) (IUCLID (2000)) [NITE-CHIRP]
イソプロピルアルコール	: LC ₅₀ = 68.5 mg/L/4h (27,908 ppmV) (ラット) [NITE-CHIRP]
ミネラルスピリッツ	: LC ₅₀ > 5.5mg/L/4h(ラット) [原料SDS]
皮膚腐食性/刺激性	
製品	: 区分に該当しない。
シロキサン化合物	: 短時間接触で、局部発赤を伴う中程度の皮膚刺激を起こすかもしれない(類似物質) [原料SDS]
界面活性剤	: 区分2 [原料SDS]
イソプロピルアルコール	: 区分に該当しない。 [NITE-CHIRP]
ミネラルスピリッツ	: 短時間接触で、局部発赤を伴う中程度の皮膚刺激を起こすかもしれない。皮膚の乾燥および剥離を引き起こすことがある。 [原料SDS]
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	
製品	: 区分2
シロキサン化合物	: 眼を刺激することがある。 [原料SDS]
界面活性剤	: 区分1 [原料SDS]
イソプロピルアルコール	: EHC (1990)、SIDS (2002)、PATTY (6th, 2012)、ECETOC TR48 (1998) のウサギでの眼刺激性試験では、軽度から重度の刺激性の報告があるとの記述があるが、重篤な損傷性は記載されていないことから、区分2とした。 [NITE-CHIRP]
呼吸器感作性	
製品	: 分類できない。(現在までのところ有用な情報なし。)
皮膚感作性	
製品	: 区分に該当しない。
シロキサン化合物	: アレルギー性皮膚反応を示した(モルモット) [原料SDS]
生殖細胞変異原性	
製品	: 分類できない。(現在までのところ有用な情報なし。)
発がん性	
製品	: 分類できない。(現在までのところ有用な情報なし。)
生殖毒性	
製品	: 区分に該当しない。
イソプロピルアルコール	: ラットの経口投与による2世代試験では生殖発生毒性は認められなかったとの記述がある (IARC 71 (1999)、EHC 103 (1990)) が、このデータの詳細は明らかではない。比較的新しいラットの経口投与による2世代試験では親動物に一般毒性影響 (肝臓及び腎臓の組織変化を伴う重量増加) が認められる用量で、雄親動物に交尾率の低下、児動物には生後に体重の低値及び死亡率の増加が見られたと記述されている (PATTY (6th, 2012))、SIDS (2002))。雄親動物における交尾率の低下と新生児への有害影響は、親動物への一般毒性による二次的・非特異的な影響とは考えがたい。また、妊娠雌ラットに経口投与した発生毒性試験において、胎児には軽微な影響 (体重低値、骨格変異) が見られたのみで、奇形の発生はなかったが、母動物毒性 (不安定歩行、嗜眠、摂餌量及び体重増加量減少) がみられる用量で着床不全、全胚吸収など生殖毒性影響がみられている (PATTY (6th, 2012))。以上の結果、分類ガイダンスに従い区分2に分類した。 [NITE-CHIRP]
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	
製品	: 区分に該当しない。
イソプロピルアルコール	: SIDS (2002)、EHC 103 (1990)、環境省リスク評価第6巻 (2005) の記述から、本物質はヒトで急性中毒として中枢神経抑制 (嗜眠、昏睡、呼吸抑制など)、消化管への刺激性 (吐き気、嘔吐)、血圧、体温低下、不整脈など循環器系への影響を含み、全身的に有害影響を生じる。また、吸入ばく露により鼻、喉への刺激性 (咳、咽頭痛) を示す (EHC 103 (1990)、環境省リスク評価第6巻 (2005)) ことから、気道刺激性を有する。以上より、区分1 (中枢神経系、全身毒性)、及び区分3 (気道刺激性) に分類した。 [NITE-CHIRP]
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	
製品	: 区分に該当しない。

イソプロピルアルコール	: ラットに本物質の蒸気を4ヶ月間吸入ばく露試験で、100 mg/m ³ (ガイドンス値換算濃度: 0.067 mg/L/6 hr) 以上で白血球数の減少が見られ、500 mg/m ³ (ガイドンス値換算濃度: 0.33 mg/L/6 hr) 群では呼吸器 (肺、気管支)、肝臓、脾臓に病理学的な影響が認められた (EHC 103 (1990)) との記述から、標的臓器は血液系、呼吸器、肝臓、脾臓であると判断し、血液は区分1、呼吸器、肝臓、脾臓は区分2とした。なお、吸入又は経口経路による動物試験において、区分2のガイドンス値を上回る用量で、麻酔作用、血液系への影響がみられている (SIDS (2002)、PATTY (6th, 2012))。 [NITE-CHIRP]
ミネラルスピリッツ	: ヒトでは骨髄、肝臓に影響の報告がある。動物では中枢神経系障害、肝臓。 [原料SDS]
誤えん有害性	
製品	: 区分1
イソパラフィン系溶剤	: 区分1 [原料SDS]

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	
製品	: 区分に該当しない。(ただし成分中の10 - 20%は水生環境有害性が不明。)
イソパラフィン系溶剤	: EL ₀ = 1,000 mg/L/48h (甲殻類オオミジンコ) [原料SDS] LL ₀ = 1,000 mg/L/96h (魚類ニジマス) [原料SDS] NOELR = 1,000 mg/L/72h、EL ₀ = 1,000 mg/L/72h (藻類ムレミカヅキモ) [原料SDS]
シロキサン化合物	: 類似物質の環境有害性データ LC ₅₀ = 597 mg/L/96h (魚類ゼブラフィッシュ) [原料SDS] EC ₅₀ = 81 mg/L/48h (甲殻類ミジンコ類) [原料SDS] ErC ₅₀ = 8.8 mg/L/72h (藻類ムレミカヅキモ) [原料SDS] NOELR = 3.1 mg/L/72h (藻類ムレミカヅキモ) [原料SDS]
水生環境有害性 長期(慢性)	
製品	: 区分2
イソパラフィン系溶剤	: NOELR > 1 mg/L/21d (甲殻類オオミジンコ) [原料SDS]
シロキサン化合物	: NOELR > 1 mg/L/21d (甲殻類オオミジンコ、半止水式試験) [原料SDS]
イソプロピルアルコール	: NOELR = 30 mg/L/21d (甲殻類オオミジンコ) [原料SDS]
残留性・分解性	
製品	: データなし
生体蓄積性	
製品	: データなし
土壤中の移動性	
製品	: データなし
オゾン層への有害性	
製品	: データなし

13. 廃棄上の注意

許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
容器、機械装置等を洗浄した排水は、地面や排水溝にそのまま流さない。
空容器は、内容物を完全に除去した後に廃棄する。
その他関連法規の定めるところに従う。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 1993
品名(国連輸送名)	: 引火性液体 n.o.s.
国連分類	: クラス3(引火性液体)
容器等級	: III
海洋汚染物質	: 該当
国内規制	

陸上輸送	: 消防法の定めるところに従う。
海上／航空輸送	: 船舶安全法、航空法の定めるところに従う。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	: “取扱い及び保管上の注意”の項の一般的注意に従う。 容器は漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 引火性液体なので「火気厳禁」。 水漏れ・横積み厳禁。 容器は温度上昇を抑制するものである必要がある。
緊急時応急措置指針番号	: 128 引火性液体(非極性、水不溶)

15. 適用法令

化審法	: 本製品は既存化学物質の混合物に該当するため対象外
消防法	: 危険物 第四類 第二石油類 危険等級III
毒物及び劇物取締法	: 非該当
労働安全衛生法	
危険物	: 引火性の物
特定化学物質障害予防規則	: 非該当
有機溶剤中毒予防規則	: 非該当
第一種有機溶剤等	: 含有していない。
第二種有機溶剤等	: イソプロピルアルコール
第三種有機溶剤等	: ミネラルスピリット
表示対象物質	: ノナン、酸化チタン、ミネラルスピリット
通知対象物質	: ノナン、酸化チタン、イソプロピルアルコール、ミネラルスピリット
化学物質排出把握管理促進法	: 非該当
船舶安全法	: 引火性液体類
航空法	: 引火性液体
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Y類物質)
有害液体物質	: ばら積みの輸送条件に当たらない。

16. その他の情報

- 1. 配合原料メーカー発行の安全データシート
- 2. GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針
(2023年9月版、一般社団法人 日本化学工業協会 編集、一般財団法人 日本規格協会 発行)
- 3. 各関連法規
- 4. NITE 化学物質総合情報提供システム(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

混合物である製品の危険有害性情報は、個々の原材料の危険有害性情報から推定したものです。安全データシートは、危険有害な化学製品について安全な取扱いを確保するための参考情報として取扱う事業者提供されるものであり、安全の保証書ではありません。取扱う事業者は、これを参考として自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずる必要があることを理解した上で、活用されるようにお願いします。